

静岡市茶業振興協議会・商業組合静岡県タクシー協会・静岡県中部個人タクシー協同組合連携事業

「お茶のまち静岡市」シティプロモーション事業が始まりました！

平成24年8月5日（日）より、静岡市の茶業界とタクシー業界との連携による「お茶のまち静岡市」シティプロモーション事業が開始されました。

今回の連携事業の中では、静岡市内を走るタクシー全車両へのPRマグネットシート貼付や、タクシーを利用する観光客への静岡市のお茶缶・PRパンフレットの配布を実施します。

事業開始後にも、タクシー乗務員を通じたお茶に関する情報発信・観光案内など、茶業界・タクシー業界だけでなく、静岡市民や市外から訪れる観光客など、皆さまにとってより良い事業連携を継続していきます。

タクシー車両に貼付するPRマグネットシートはどんなデザイン？

PRマグネットのデザインは、茶畑や大地のうねり、波のうねり、風のうねりを連想させ、静岡市の自然と共に生きる躍動感を象徴した「うねりのライン」と、文字の一角を「茶畑のシルエット」と「富士」に見立てた、絵文字風な「茶畑と富士」を表す「茶」の文字とを組み合わせたものになっています。

このデザインは、マグネットシートとしてだけでなく、「お茶のまち静岡市」をPRする統一的なロゴデザインとして、関係団体にて幅広く使用していきます。



静岡市の茶業界とタクシー業界が連携することになったのはなぜ？

静岡市内では、ジャンボタクシーを使った「ファーム・ビジット」（農業体験・農家への観光）の実施など、市内の農業や農家を一つの観光資源として、これまでも様々な事業が行われてきました。

これらの事業を通じて、静岡市茶業界とタクシー業界との関わりが深まり、市内茶業の維持・発展を目指す「静岡市茶業振興協議会」と、観光業に携わる「商業組合静岡県タクシー協会」「静岡県中部個人タクシー協同組合」との事業連携が両者で検討され、今回の事業が開始されることになりました。

今回の連携事業では、どんなことをするの？

今回の連携事業では、静岡市内を走る 1,355 台の全てのタクシー車両に、「お茶のまち静岡市」を PR するマグネットシートを貼り付け、静岡市民や静岡市を訪れる観光客の皆さまへ、静岡市がお茶のまちであることの PR を図ります。

また、タクシーを利用する観光客に対しては、JA 静岡市・JA しみずが製造販売する静岡市のお茶缶と、農業体験ができるお茶農家などお茶に関する観光地の情報を掲載した PR パンフレットを合わせて 2,400 セット配布し、静岡市のお茶を味わいながら、市内の観光を楽しんでいただきます。

以降も、両業界の事業連携を継続しながら、お茶の生産・流通・消費に関わる茶業界の皆さま、タクシー業を営む皆さま、市民や観光客の皆さまにとって、より良い事業を展開していきます。

平成 24 年 8 月 5 日から事業を開始するのはなぜ？

日本のタクシー業は、大正元年（1912 年）8 月 5 日に、東京数寄屋橋で、タクシー自動車株式会社が営業を開始したことから誕生しました。

タクシーの生誕日にあたる毎年 8 月 5 日は「タクシーの日」として定められており、平成 24 年はタクシー生誕 100 周年の節目の年にあたります。

このため、生誕 100 周年という記念すべき年の「タクシーの日」に合わせ、今回の連携事業が開始されることになりました。

「静岡市茶業振興協議会」は、どんな団体？

静岡市は、全国有数のお茶の生産地・集散地です。

この静岡市の茶業界をさらに発展させていくため、茶生産、茶商工、行政が連携し、お茶に関連する様々な事業を一体となって実施していくことを目的に、平成 22 年 4 月に「静岡市茶業振興協議会」が結成されました。

静岡茶商工業協同組合、静岡市農業協同組合、清水農業協同組合、静岡市の 4 団体にて構成されています。